

令和5年度 第3回 福知山市上下水道事業経営審議会

日時：令和5年11月6日（月） 午後1時30分から午後3時30分
場所：福知山市上下水道部庁舎 3階 301会議室

- | | | |
|---------------|-------------------|----------------------------|
| 〔委員〕
(敬称略) | 齋藤達弘 | 会長・福知山公立大学 教授 |
| | 越後信哉 | 副会長・京都大学大学院地球環境学堂 教授 |
| | 松本清香 | 公募委員（欠席） |
| | 中井政夫 | 公募委員 |
| | 大内 淳 | 福知山商工会議所 中小企業相談所 所長 |
| | 衣川浩行 | 福知山商工会 事務局長 |
| | 嵯峨根正和 | 一般社団法人長田野工業センター 参与 |
| | 谷垣 均 | 福知山市自治会長運営委員連絡協議会 駅前町自治会長 |
| | 森田雅子 | 福知山市連合婦人会 会長（欠席） |
| | 大路裕子 | 京都府建設交通部公営企画課 課長 |
| 長谷川広樹 | 京都府建設交通部水環境対策課 課長 | |
| 〔上下水道部〕 | 中村直樹 | 福知山市上下水道事業管理者職務代理者（上下水道部長） |
| | 牧 正博 | 上下水道部次長 |
| | 間島哲哉 | 経営総務課長 |
| | 井上義信 | 上下水道部次長兼水道課長 |
| | 田中和幸 | 下水道課課長補佐兼管理係長 |
| | 高橋 徹 | 下水道課課長補佐兼施設係長 |
| | 吉田忠司 | 下水道課整備係長 |
| | 河田淳也 | 下水道課計画係長 |
| 〔事務局〕 | 志賀 亘 | 経営総務課課長補佐兼経理係長 |
| | 櫻尾篤士 | 経営総務課経理係主査 |
| | 西村さつき | 経営総務課経理係主査 |
| | 杉山貴哉 | 経営総務課経理係主事 |
| | 山崎志帆 | 経営総務課経理係主査 |

○開会及び開会あいさつ

齋藤会長 福知山市上下水道事業経営審議会規程第5条第2項の規定どおり、委員の皆様のご出席を賜っておりますので、ただいまから令和5年度第3回福知山市上下水道事業経営審議会を開催させていただきます。

まず、令和4年度の水道事業・下水道事業の決算についてご報告をお願いします。経営戦略との比較を踏まえて決算がどうであったかご報告をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

○令和4年度水道事業会計・下水道事業会計決算について

～志賀課長補佐 報告～

齋藤会長 ありがとうございます。
それでは、委員の皆さまからご意見等ございますでしょうか。

越後副会長 資料の3ページで、「経営戦略」という列がありますが、これは経営戦略を設定した時点で予測した令和4年度の値ですか。全部同じ理解で良いですか。

志賀補佐 その通りです。令和2年度に制定した経営戦略の数値を掲載しています。

越後副会長 給水人口が予測より2,000人強少なく、誤差が多い印象を受けたのですが、これくらいの誤差は仕方ないものなのでしょうか。

志賀補佐 人口の予測は、国立社会保障人口問題研究所の予測を基に予測しております。

越後副会長 特別なことがあって誤差が大きくなったのではないということでしょうか。

志賀補佐 そうです。

齋藤会長 長田野工業団地で採用や縮小があると、かなり大きな影響がある

ようなことはありますか。増減の要因として市の方で把握されていることはありますか。

嵯峨根委員 長田野工業団地では府の工業用水道を使っており、生活水はごく少ない状況ですので、令和4年度で工場が誘致されて拡充して操業が始まるなど、大きな動きはありませんので、基本的にはあまり変わっていないと思います。

齋藤会長 ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

衣川委員 資料1-1の補助金収入は、資料1-2ではどこに計上されているのでしょうか。

志賀補佐 営業外収益の中に含まれています。

衣川委員 7ページに動力費として32,434千円増えたとあるのですが、今、国の補助金があるかと思いますが、それも該当しているのでしょうか。例えば補助金がなくなった時にもう少し上がることも考えられるのでしょうか。

志賀補佐 補助金がなくなったら上がると思います。

衣川委員 どれくらい上がるか分かりますでしょうか。

志賀補佐 今すぐには分かりませんが、分かりましたら後程回答させていただきます。

齋藤会長 ありがとうございます。収益的収支については、水道も下水道も経営戦略にほぼ沿って黒字になっていますが、それは燃料費高騰に関する基準外繰入によって収支が保たれているということでしょうか。

志賀補佐 その通りです。

齋藤会長 他にございませんでしょうか。

- 嵯峨根委員 水道の給水人口と下水道の行政区内人口が微妙に違うのですが、公共下水道に接続されていないことを考えると、給水人口の方が上回ると思うのですが、下水道事業の方が少し上回っているのはどういう理由があるのでしょうか。
- 間島課長 行政区内人口は、下水道に接続していない人口も含む区域内の人口全てを指しており、給水人口は給水をしてくださっているお客様の人口を示しているため、差が出るのはそういったところです。
- 嵯峨根委員 逆に言えば、給水人口は井戸水を使っておられるところが含まれていると考えれば良いのでしょうか。
- 志賀補佐 井戸水は入っておりません。
- 齋藤会長 下水道の給水人口は何人かをお答えいただくと分かりやすいと思います。
- 中村部長 水道は給水人口というのは給水されている人口です。下水道は、行政区内人口はそこにおられる人の人数が 75,471 人です。それに対して、下水道に接続されている人の人数はというと、64,465 人ということになります。
- 齋藤会長 ありがとうございます。他にございませんでしょうか。
- 志賀補佐 先ほどの電気料金のことについて、下水道課の田中補佐から回答させていただきます。
- 田中補佐 15 ページの下水道の動力費が、経営戦略と比較して 3,600 万円程度の減ということになっております。今のところは国の補助があり、今年度も一定の減額がありました。令和 4 年度の方が今よりも高い補助率だったためこの数字になっており、仮に補助がなくなれば、増減額に影響があります。実態としては 25%程度と認識しております。令和 5 年度も補助が一定入っており、燃料費調整制度による原油価格の変動が下降傾向になっているので、増減額としては小さい数字になると考えています。

齋藤会長 動力費の 3,600 万円は、補助があつて 3,600 万円で済んでいるが、令和 5 年度は原油価格が下がっているので、それに応じて補助も下がり、補助額が一定ではないということですね。

田中補佐 燃料費調整単価が高止まりすれば市場への影響がありますので、前回よりも補助率が下がってきているのは、原油価格が下がってきていることも影響があると思います。

齋藤会長 ありがとうございます。他にございませんでしょうか。
それでは、令和 4 年度水道事業・下水道事業決算について、審議会の方でご了承いただいたということにさせていただきます。
続きまして、経営戦略の改定についてです。前回の審議会で経営戦略の前半分である個々の内容についてご説明をしました。最後の投資財政計画について数字が固まっておりましたので、それを今回議論することになっております。それではご説明をお願いします。

○経営戦略の改定について

～間島課長 報告～

齋藤会長 ありがとうございます。水道も下水道も令和 9 年か 10 年あたりで局面が変わりそうだという計画になっているかと思います。収益的収支を見ますと、水道事業も下水道事業もあと 4 年くらいは収支を維持できる結論ではないかと思います。
委員の皆様からご意見・ご質問がありましたらお願いします。

大路委員 水道の 13 ページ (3) ②財源についての検討状況等の料金について、「今後の収支のバランスを注視しながら、料金改定の必要性を検討していきます」とありますが、別紙 1 を見ると令和 10 年度以降赤字が継続する見込みとなっています。
動力費の動向が分からないため、注視していくということでもいいのかも知れませんが、今後の料金改定の議論の必要性について市民に分かっていただけるよう、書き方を工夫された方が良いのではないかと思います。

間島課長　この収支計画を議会でも、令和10年から赤字が発生する見込みというご説明はしっかりしていきたいと考えています。物価上昇の動向や料金収入の減少の状況が大きく収支には影響してくると考えています。先ほど繰入金のところの説明をしましたが、電力高騰の基準外繰入を入れていただいて、令和4年度は収支が1億円の黒字になりましたが、それがなければ収支が悪化する可能性もありますので、物価高騰や料金収入の状況を注視しながら、経営がどのように推移していくか、毎年委員の皆様にも決算の状況をご報告してくのが良いと思っております。今ご意見をいただきました書き方については、こちらの方で検討していきたいと思っております。

齋藤会長　経営戦略は5年毎に向こう10年の改定をしていくということでするので、5年後に赤字になるから、料金改定を今議論できるかというところ、そこまではできなのではないかと。ただし、毎年決算の報告をしていただく中で、やはりここに書いている計画のようになりつつあるという段階では、料金改定の議論をせざるを得ないと思っておりますが、今の改定の段階で料金改定は議論しづらい印象です。今委員の方からご意見いただいたように、決して楽観視していないという文言を足してはどうかと思います。下水道も同じような項目があますが、料金が2通りあり、料金差について使用料改定のタイミングで合わせて議論するということが書かれていると思います。こちらには使用料を改定するという明言がないのですが、29ページの料金改定のところに、水道と同じような文言を加えるというお考えはありませんでしょうか。

間島課長　それについても検討したいと思っておりますが、水道は「料金」という項目で、下水道は「使用料の見直し」という項目の違いもありまして、使用料の見直しを検討課題と書いております。

齋藤会長　意図は「使用料の見直し」と「料金改定」は違うものでしょうか。

間島課長　内容については同じものになりますが、水道は簡易水道の統合で1市1水道となり、1料金体系にすることができたのですが、下水道事業については中に4事業持っており、4つの事業をまとめ上げなければならない難しさがあり、その中にも2つの使用料があ

るということで、今後もしっかり考えていかなければならないと
考えています。

齋藤会長 種類が多いのを集約することが先で、まだ統一料金までは踏み
込めないということでしょうか。

間島課長 下水道事業は会計上合算していますが、この区分を崩すことは
できないということになっています。先ほど言いました下豊西部
の統合ということがありました。公共下水道に管をつないで公
共下水道の形になっていくのですが、現時点では物理的に全ての
管をつなぐことは難しく、4つの区分を守らざるを得ない状態にあ
り、それぞれの使用料を考えていかなければならないと思ってお
ります。

齋藤会長 「料金改定」と一言では書きづらいということですね。ありが
とうございました。他にございませんでしょうか。

長谷川委員 下水道 28 ページのところ、経費全体は令和 7 年度以降日銀の
動向を踏まえて 2%増加で見込まれています。その内訳である動力
費や修繕費は令和 8 年度以降汚泥処理施設再構築事業の完成もあ
って、減少傾向にある一方で、その他の経費をかなり増やして、ト
ータルは増える計上となっていますが、実態はそうなのではし
ょうか。修繕費等下がる傾向だと思うのですが、全体としては上げざる
を得ないのでしょうか。

間島課長 日銀の方策で消費者物価 2%という議論されている中で、やはり
2%見込むべきではないかと現時点では考えております。また、最
後の記述については、汚泥処理施設再構築事業について、完成した
後の委託料としてお支払いする部分が増加し、そこに組み込まれ
ている直営部分であった動力費や修繕費も委託料の方になってい
くということで、ほぼ差し引きが 0 になってくるのではないかと
いう見込みです。

齋藤会長 ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

大内委員 資本的収支の中で、補助金と企業債の割合が収入としては大き

い部分があります。財政計画の中で、令和 14 年度までかなり詳しく計画されているというところで、長期の補助金が見込める担保があるのかどうか、また足らず分は企業債になると思いますが、企業債に対する利息もかなり大きな負担になるのではと思います。政策金利がこれから上昇するかどうか見込めないとはいえ、今後利率が上がった場合に、金利の負担増もこの中で見込んでおられるのかどうか、現状の数字ではどれくらいの利率で見込んで数値を出しておられるのか教えてください。

井上次長 水道事業の財政計画の補助金について回答させていただきます。令和 14 年度までの補助金の計画が記載されておりますが、現在水道につきましては厚生労働省の補助金のメニューがあり、その中から施設の更新に関わるものに対して、1/3 や 1/4 等一定の率の交付金をいただいております。これがこの先 10 年以上計画がありますが、施設の更新に対する補助金が継続してあるという前提で上げております。国の動向によってそのメニューが変化していくと思いますが、現在のところそういう形で計上しております。補助金については以上です。

間島課長 次に企業債に対して支払利息がかさむのではないかとご意見をいただきました。このシミュレーション上は企業債の方は借りるのを 30 年としておりまして、1 年据え置き期間はありますが、29 年償還を想定しています。利息は 1.5% を見込んでおります。また、過疎債は 15 年償還ですので、若干下げた 1.0% を見込んでシミュレーションをしております。

中井委員 令和 10 年度からは水道、下水道共に赤字に陥るというような計画がありますが、今令和 5 年度の下半期に入っているのも、あと 4 年しかありません。現在岡山市では 20.6% の料金値上げをすることで、かなり反対運動が市民から起きて、市長がそれをもう少し引き下げる話をするというような報道がされております。議会で料金改定について否決をされたということも報道で見えております。あと 4 年程で赤字になる状況を踏まえて、現実には早く取り組んでいかないと、市民の理解を得るのは難しいのではないかと思います。このあたりのご計画はいかがでしょうか。

間島課長　　今言っていた通り、現状の収支計画の説明をしっかりといかなくてはならないと思っております。それと共に、料金改定をする時には、市民の方に前もってしっかり説明することは必ず必要なことだと思っております。収支の状況を令和 5 年度決算の時にもお示ししたいと思っておりますので、委員の皆様と共有しながら一緒に考えていけたらと思っておりますので、よろしくお願い致します。

齋藤会長　　前回の料金改定が平成 29 年 7 月でした。その時は経営審議会がなく、料金改定の議論は経営審議会にとっては初めてになるので、どういうスケジュールで進めたら良いのか試行錯誤、事務局の方で検討していただければと思います。今回は別途会議を開いたのですか。

間島課長　　経営審議会という条例上の機関はなく、経営検討委員会というものを立ち上げ、皆様に料金改定について議論いただいたのですが、それも踏まえてこういった会議を持ちたいということで設置させていただいた経緯があります。

谷垣委員　　料金改定の話が出ていましたが、次回の令和 10 年まで料金改定がないのか、ビジョンの改定時期に合わせてするのか、今の世界情勢を含めた中で前倒ししていくのかということが一つ。また、水道は料金改定と書いてあり、下水道の方は使用料の見直しと書いてあるので、いずれ財政的に困難な事態になるのは見えています。全市民に事前に早く何らかの形で伝えた方が、後々事業としては経営の立て直しも含めてスムーズに移行できると思いますので、早ければ早いほど地域住民としては、それぞれの備えもありますので、お知らせをしていただけたらありがたいと思います。

齋藤会長　　審議会としてどのように料金改定をするのかまだ固まっていないので、今回の経営戦略の中に料金改定を考えなければいけないことを書き込むということが大切なことだと思います。そうしませんと、そういう議論ができないということになると思います。料金改定のタイミングと経営戦略の改定、あるいはビジョンの策定のタイミングと一緒になければならないということはないですが、突然の話にならないように戦略の中にはその旨書き込んでおかな

ければならないと思います。

間島課長 言っていた通り、丁寧にという意味でアドバイスをいただいたと思いますので、私共もそれは肝に銘じて事務に取り組んでいきたいと思っております。

齋藤会長 毎年の決算は経営戦略と比較して決算報告をしていただき、検討するということですが、あまりにもそこが違っていれば議論をしなければいけないというシグナルになるのではないかと考えております。他にご意見ございませんでしょうか。

越後副会長 厳しく見積もった場合、甘く見積もった場合といくつかシナリオをもっておくことが大事だと思います。水道だと13ページの今後検討予定の取組に広域化等ありますが、料金改定を考えるうえで、これをやってもだめだとうことを言わないといけないかもしれないので、あまり待たずにこういったこともされると良いのではないかと考えています。今回の経営戦略に意図を込めることもできると思いますが、平均的なシナリオで計算されているのでしょうか。

間島課長 総務省が経営戦略策定にあたっての留意事項として書かれていますが、現実にはできるだけ見合った実態数字をお伝えしていかなければならないと思っております。収入については厳しめ、支出についてもしっかりみて、決算時には収入はこれの下回らない、経費については執行残が出てくるのではないかと考えています。これよりも下回らないような経営ができればというふうに思っております。

衣川委員 上下水道の収益的収支の表がありますが、その中で令和10年度から赤字になっています。例えば赤字になった時に、どこから費用を補填されるのかというのが1点と、企業の場合、赤字でもキャッシュフローが回っていれば倒産しないということがありまして、流動資産を見ると令和10年度からずっと増えているということがあると思います。赤字になりながら流動資産が増えている点、以上2点について教えてください。

間島課長 流動資産の方は調べさせていただきます。前回の料金改定の際に赤字を計上しております。実際キャッシュの方は回っている状態にありますので、そこについては企業債を70%から90%に充当率を上げる等してキャッシュを確保することはしっかりしていかなければならないと思っております。しかし、それが数年続くと厳しい状態になっていくので、事前に経営状況を把握する必要があると考えております。

中井委員 一般会計からの繰入金は5年先、10年先の数値を出していただいておりますが、ある程度はつきり把握できるものなのでしょうか。

間島課長 繰入金については、元金と利息は明確に数字として表れているので、将来についても実額が分かります。今後借り入れる予定である起債をその率で計算すると、企業債が出てくるので、水道については繰入金が明確に分かる項目が多いです。前回調整事項になりました原因が、経営支援の電力高騰分です。これは項目が明確でない部分で、総務省基準にない令和3年と令和4年の電力料の差額を繰り入れてもらっており、毎年20%ずつ割落としていくことを決めてきました。こういった実額が分かりにくい部分を調整してきたということになっております。

齋藤会長 費用を補填している補助の仕方と、資本的支出について何かする時にお金が入るのは費用ではなくむしろ資産を増やすことになるので、その区別がつきにくい。補助が無限にもらえるのであれば赤字になることはあり得ないことなので、赤字にならないようにどうしているのかということが一般の人から見た時に分かりづらと思います。ご説明される時に工夫されてはどうかと思います。

他にございませんでしょうか。

前回の審議会で上下水道ビジョンが10年間の中間地点に当たりますので、見直しをする必要があるのか議論していただき、当面変更しなくてもよいだらうという結論をいただきました。それと同時期に今回の経営戦略について、審議会としてこれで良かろうという結論と考えていますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。この後上下水道ビジョンや経営戦略については議会との関係はどのようになっているのかご説明をお願いします。

間島会長　　今回経営戦略で皆様にご意見をいただいたものを、議会でご報告申し上げたいと思っております。スケジュールは未定ですが、早くて年内、遅くとも年度内にご報告をして市民の皆様にもお伝えしていく予定です。ビジョンは今回改定項目がないので、議会への報告はありません。

齋藤会長　　これで経営戦略の改定についての議論は締めさせていただきます。本日用意した事項は以上です。よろしいでしょうか。では、会議を締めるのにあたって越後副会長から一言お願いします。

越後副会長　　皆様長時間に渡りお疲れ様でした。決算経営戦略の話がメインだったと思うのですが、料金改定のお話が出たあたりからたくさんご意見が出て良かったのではないかと思います。早くできるならした方が良いという意見もあったので、考えていただけたらと思いますし、数年後の人口ですら予測するのが難しい状況下で、5年後10年後に料金改定をすべきかという予測は難しいのですが、ただ、難しいから今は考えないでは何も進まないのです、水道事業体、市役所、市民の方々が水道・下水道事業がどうあったら良いというビジョンを持って、なるべくそれに近づいていくのが大事ではないかと思いました。逃げずに早めにやった方が少しでも人口も多いですし、もしかしたらスタッフも多いですし、できる検討は進めたら良いのではと思いました。

齋藤会長　　ありがとうございました。今年度の経営審議会は今回で終了です。次回は来年4月に定例の審議会を開催したいと思います。令和5年度第3回福知山市上下水道事業経営審議会を終了します。皆様長い時間ありがとうございました。